

あけましておめでとうございます。
本年もよろしく願いいたします。



松に雪（衆楽園）

撮影 徳田名誉院長

特集 『手術支援ロボット da Vinci（ダヴィンチ）』

2019年1月号は、今後運用開始を予定しております手術支援ロボット『da Vinci』について特集いたします。

特集

『手術支援ロボット da Vinci(ダヴィンチ)』

ロボット支援腹腔鏡下手術『ダヴィンチ』は、湾岸戦争の負傷兵に対して遠隔操作手術を目的に米軍により開発が進められた軍事システムですが、現在では全世界で平和利用され、日本国内でもすでに約 300 台、県内においても岡山大学を始め 6 台のダヴィンチが稼働しています。

この度、当院において県北初の『ダヴィンチ』が導入され、平成 31 年初旬より前立腺がんに対してロボット手術が可能となります。

『ダヴィンチ』の特徴

①3D ハイビジョンカメラ (fig.1)

高解像度三次元画像で最大 15 倍の拡大視野の良好な術野が得られます。

②多関節鉗子機能 (fig.2)

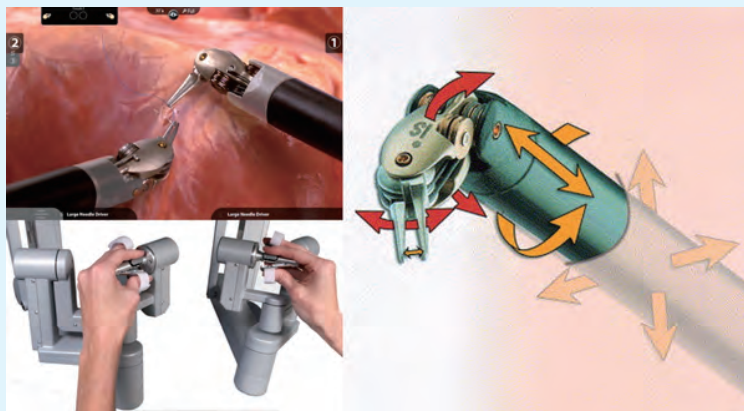
7 自由度の多関節機能による『人間』の関節を超える自由な動きが得られます。

③モーションスケーリング機能 (fig.3)

術者の手の動きを縮小して伝達することにより繊細な手術が可能です。



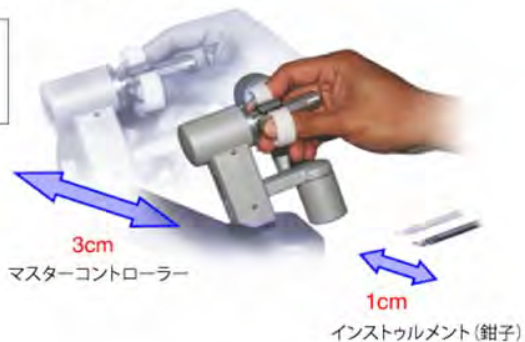
(fig.1)



(fig.2)

■ モーションスケーリング機能

| | |
|--------|---------|
| Quick | (1.5:1) |
| Normal | (2:1) |
| Fine | (3:1) |



(fig.3)

④手ぶれ防止機能 (fig.4)

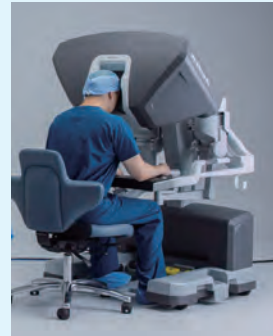
手指の動きを正確かつ安全に伝達することが可能です。

⑤術者の負担軽減 (fig.5)

清潔厳守の術野から離れて、座って良好な視野での直感的操作を行うことによる肉体的負担や精神的疲労度が軽減されます。



(fig.4)



(fig.5)

上記の特徴がありますが、AI(人工知能)が行う全自動手術ではなく、ロボット手術チーム(術者やコメディカル等)の日々のたゆまぬ研鑽が必要であることは言うまでもありません。

前立腺がんにおけるロボット手術の特徴

①術中の出血量が少ない

輸血することがほとんど無く、開腹手術時に行っていたご自身のための献血(自己血)が不要となります。

②傷が小さく、術後の疼痛が少ない

術翌日より歩行や食事が開始できます。

③社会復帰が早い

周術期合併症も少なく早期退院できます。

④根治性が高い

拡大視野と繊細な手術が可能のため根治切除率が向上する可能性があります。

⑤機能温存が向上

術後尿失禁の回復が早く、症例によっては男性機能温存手術が可能です。



ダヴィンチチーム
(医師、看護師、臨床工学技士等)

『ダヴィンチ』導入にともない、当院でより安全で質の高い医療をご提供できるようになりました。

最後に…

津山出身である私が、地元の方々に最先端の治療を提供させていただくことを大変嬉しく思っております。津山中央病院で治療をして良かったと思っただけのような診療、治療を心懸けて参りますので今後ともよろしくお願ひします。



泌尿器科 部長
弓狩 一晃

第一回 介護・在宅研修会 開催のご報告 「天涯孤独の津山太郎 90 歳、`わしゃ家におりたいんじゃ`」

近年、介護・医療地域連携において地域包括ケアシステムが注目されています。ご存知の通り、地域包括ケアシステムは地域の実情に応じて、可能な限り、住み慣れた地域でその能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まいと自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制です。

この包括ケアシステムの中で当院のような急性期病院もその役割の一端を担っていることから、地域とのスムーズな連携を行うためには、医師をはじめとした急性期病院の職員も、在宅を担う医療機関や介護サービス、生活支援、行政の関わり等、連携先のサービス内容を理解しておく必要があります。

このような理由から、平成 30 年 11 月 21 日、津山慈風会記念ホールで当院職員を対象に第一回の介護・在宅研修会を開催しました。研修会は、各職種が連携において何をなすべきかを知ることを研修目的として、『天涯孤独の津山太郎 90 歳、`わしゃ家におりたいんじゃ`』をサブタイトルに、MSW とは？ 訪問看護とは？ 訪問看護指示書とは？ 主治医意見書とは？ 介護保険とは？ ケアマネとは？ 等について、寸劇を交えながらわかりやすい解説付きで行いました。普段の研修会と異なり、会場は大盛り上がりで、参加者総数 109 名、うち 31 名の医師の参加を得られました。

連携でのまず取っ掛かりである医師の大勢の参加を得たことは非常に意義があったものと考えています。今後もこのような研修会を重ねていくことで、当院職員の地域包括ケアに対する理解を深めていきたいと思えます。



統括診療部長
野中 泰幸

新任医師紹介

①出身大学 ②前勤務先 ③専門領域

○循環器内科 主任
田淵 真基
(たぶち まさき)
①宮崎大学
②岡山大学
③循環器内科一般



津山中央病院医療情報プラザ・津山市立図書館 相互協力セミナー開催のご報告

津山中央病院 医療情報プラザは、津山市立図書館との相互協力体制をとっており、入院患者さんへ市立図書館の図書貸出や、市立図書館へ医療情報資料の提供等を行っております。

去る11月19日（月）に、津山市立図書館視聴覚室にて、市民の方を対象とした相互協力セミナーを開催致しました。

8回目となる今回は、当院 整形外科 医長、皆川寛 医師が「我慢しないで！ひざの痛み～原因と治療法～」をテーマに、膝関節症状の種類や経過、手術や運動療法、日常生活における注意点等について、幅広く解説しました。膝痛治療中の患者さんや家族だけでなく、「痛みがないうちに予防的にトレーニングをしたい」と参加された方も多く、会場からは「有益な話が聞けて大変参考になった」との感想が寄せられました。

当院は今後も、地域への医療情報提供・発信を継続して行って参ります。

医療情報プラザ
司書 小林 由美恵



外来診療担当医の変更について

今月は津山中央病院に変更がありました。別紙、外来診療担当医表にてご確認ください。ホームページ (<http://www.tch.or.jp>) でもご覧いただけます。

研究会、教室のご案内

■美作地区胸腹部画像診断研究会

日時／通常毎月第4金曜日 19:00～(8・12月を除く)

場所／津山中央病院 医療研修センター 2階講義室

※変更がある場合がございますので、詳細はお問合わせ下さい



■津山中央記念病院 糖尿病教室

日時／毎週火・水曜日 13:30～(30～60分程度)

場所／津山中央記念病院2階会議室

■津山中央病院 糖尿病教室

日時／毎週月曜日 13:30～14:30

場所／津山中央病院 N館3階
ダイコーナー

■津山中央病院 心不全教室

日時／毎週水曜日 13:00～14:00

場所／津山中央病院 N館5階病棟 ダイコーナー

CCセミナー(地域連携セミナー)・研修会のご案内(1・2月)

当院では、地域連携セミナーとして、CCセミナーを開催しています。
地域の医療従事者の方に自由にご参加いただけます。

●美作医学会学術講演会 『慢性便秘症と私』

日時:平成31年1月24日(木)19:20~20:30

講師:岡山大学病院 消化器内科 助教 原田 馨太 先生

場所:津山慈風会記念ホール

●周産期医療従事者研修会

『津山地区の妊産婦緊急事態を効果的にサポートする

妊産婦情報共有システム"iPicss"の説明と実施に向けて(仮)』

日時:平成31年2月7日(木)18:00~19:30

講師:岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 産科・婦人科学教室 牧 尉太 先生

場所:津山慈風会記念ホール

●美作医学会学術講演会 『がん時代の運動器医療』

日時:平成31年2月12日(火)18:50~20:30

講師:岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 整形外科学 教授 尾崎 敏文 先生

場所:津山慈風会記念ホール

●臨床倫理・臓器提供研修会

日本専門医機構専門医共通講習

『救急における終末期医療と臓器提供～岡山大学病院の取り組み～』

日時:平成31年2月14日(木)17:45~18:45

講師:岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

救命救急・災害医療学講座 准教授 内藤 宏道 先生

場所:津山慈風会記念ホール

※日本専門医機構認定共通講習(医療倫理)

私たち津山慈風会は、
地域の皆さんに
やさしく寄り添います

津山中央病院 地域連携室
〒708-0841 津山市川崎 1756
TEL 0868-21-8111 FAX 0868-21-8201
メール tcmn@tch.or.jp
HP <http://www.tch.or.jp>